

ご質問にもありました「地域公共交通網形成計画」の策定や商店街空き店舗再生事業、ファシリテーション講座企画運営業務など、新年度から新たな取り組みも予定しているところであります。こういった様々な取り組みを総合的・体系的に進めることで、持続可能な地域づくりの推進に繋がるのではないかと考えております。

議員ご提案の「集落支援員」や「豊富な経験や専門性を有する定年された方などの人材の活用」につきましては、今述べてきた各種事業を実施していく中で、地域から生まれてくるのではないかと考えております。また、「まち会」につきましても、新年度から自立した形での取り組みが始まります。そして、小規模多機能自治につきましても、何とかしたいと思ってみえる地域の方々の動きが少しずつではありますがありますが、現れてきております。

いずれにしても、町の依頼で始まるのではなく、地域住民の方が主体となり、時代に合った集落生活圏の維持・地域同士の連携を目指し、町はそれをサポートしていく、そういった組織・体制づくりを今後しっかりと検討し、整えていく必要があるかと考えております。

Q5 八百津町ホームページリニューアルについて

ホームページリニューアルの考え方は

問

八百津町は、杉原千畝氏関連など色々なことで、国内外から注目を集めているが、スマートフォンに対応できるホームページや多言語対応など、ホームページのリニューアルについて町執行部の考えを伺う。

答

(青山総務課長)

当町のホームページにつきましては、平成25年度にリニューアルしたものでありますが、「世界の記憶」への登録申請が引き金となり、多くの方々からアクセスをいただけるようになりました。その反面、なかなか目的のページにたどり着けない、情報が古いままであるというようなど指摘もいただくようになりました。また、マイナンバー制度の導入など最近のコンピュータネットワークにおける安全上の確保や災害時における対応なども必要となってきたことから、今年度ホームページのリニューアルに取り組んだものであります。

各課室から若手職員を中心に15名の代表を選出し、ホームページ検討委員会を立ち上げ、コンセプトを【問い合わせなしで目的を達成できるホームページ】とし、そのためのポイントとして

①誰もが目的の情報へ快適にたどり着ける

②職員が容易にコンテンツの作成・管理ができる

③スマートフォン・タブレット対応及びSNSとの連携

と決定し、進めてきた結果、平成30年4月1日から新たな八百津町のホームページを公開できる運びとなりました。

今回のホームページは、パソコン用のホームページを作成すると同時にスマートフォン用ページが自動生成され、スマートフォンやタブレットでの情報発信を効果的に行うため、色々な種類の機器や画面サイズに対応可能となっており、ページの作成編集にあたっては、アクセスのしやすさを念頭に、リンク先のチェックや画面の見え方をPCブラウザ、スマートフォンに切り替えて画面確認することが可能となっております。対応言語につきましては、日本語・英語・中国語・韓国語であります。

また、障がい者差別解消法第5条にありますように「社会的障壁の除去の実施についての必要かつ合理的な配慮に関する環境の整備」ということから、高齢者や障がい者を含め、誰でも支障なくホームページを利用できるようにするため、職員の操作説明会も実施しました。更に災害時の対応として、

災害等が発生した緊急事態においても、正確な情報を即座にすべての利用者にわかりやすく提供することが可能であるとともに、災害によって庁舎が甚大な被害を受けた、或いは庁舎に職員がたどり着けないといった不測の事態が発生した場合でも、迅速な情報の更新・公開が可能となっております。

しかし、ホームページは町の姿勢が表れるいわゆる「顔」であり、機能が充実したとはいえ、ホームページの中味の作成編集につきましては、職員の意識によるところが大きいといえることから、引き続きホームページ検討委員会を随時開催し、研修等を重ね、情報発信に努めていきたいと考えています。



議会事務局人事異動

4月1日付けで事務局職員の異動がありました。

(転出)

議会事務局長

永田 雅也

八百津蘇水園へ

(転入)

議会事務局長

小川 七郎

農林課より

今後とも、宜しく
お願い申し上げます。

町民のみなさん

八百津町議会を傍聴してみませんか!!

6月定例会は **6月7日(木)** 開会の予定です

詳細は議会事務局までお問い合わせください ☎ 43-2111(内線2302)

一般質問の様子はCCNet(地デジ12ch)で生中継・録画放送されます

